

夢の宅配便

小田原市立城山中学校

学年主任 水野喜代治

「バトンを繋ぐ」

運動会の楽しみな競技の一つに全員リレーがあります。1年生は29人でバトンを繋いでいきます。全力で疾走して、次の友達に「お願い！よろしく！追いつけて！」などさまざまな気持ちを込めてバトンを手渡します。受け取った人は、友達の想いを受け止めて走ります。次々にバトンに友達の想いが重なって、アンカーの人は29人の気持ちが詰まったバトンをもってゴールすることになります。たとえスピードが速くてもそこに気持ちがなければ軽いバトンです。スピードは遅くても、「願い」や「想い」がたくさん込められていれば重いバトンになります。一人一人が全力で走って渡すバトンはずっしりと重いです。各クラス、バトンの重みを感じて、競技してほしいと思います。計測器では測定できない気持ちの重さを感じて、大事にバトンを繋いでください。

一昨日から、5組の川瀬さんと三廻部さんが放課後と朝にリレーの練習をしています。川瀬さんは2組に、三廻部さんは1組に交流して競技します。二人とも少しでも早く走って友達にバトンを繋ぎたいという思いで放課後と朝に練習することになりました。すると1組と2組の生徒も有志で応援に来てくれました。今日の学年練習では、いつもより早く走れるようになりました。バトンもしっかり受け取れるようになりました。



(朝練をする三廻部君・川瀬君)

二人ともバトンの想いを感じて走ったからだと思います。5組の生徒の練習を応援する気持ちが優しいなと思いました。明日は本番、3色のバトンに86名の想いをのせて疾走してください。そして、最後にゴールするクラスのアンカーは、自分は86名の想いを受けてゴールするんだと感じられたらいいなと思います。明日、最後のアンカーにみんなの気持ちを込めて「みんなありがとう」の拍手を送りましょうね。なぜなら86名の気持ちを受けた最後のバトンなのだから。

今日のキヨたん NO 29

バトンを繋ぐ

二十九人がバトンを繋ぐ

「頼むね。お願い。」の

気持ちを込めてバトンを繋ぐ

バトンを渡すたびに気持ちが

プラスされる

最後のバトンは

二十九人の願いが詰まっている

バトンを繋ごう

手から手へ

バトンを繋ごう

友から友へ